

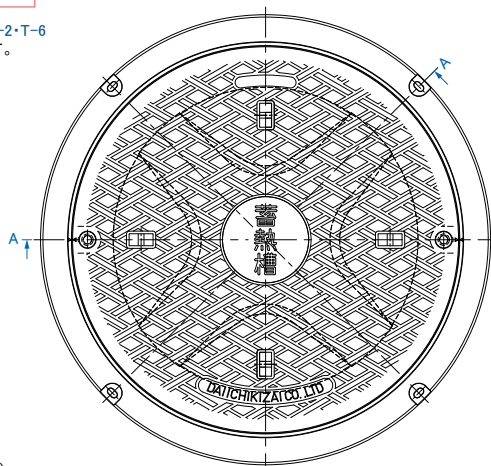
密閉形 (防水型・防臭型)

MWI-R (600) T-2-T-6 ※この製品はT-2・T-6
兼用製品です。

●質量 蓋: 56.0kg 蓋・枠: 106.8kg

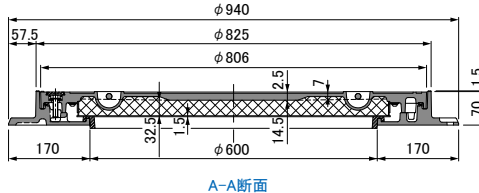


※T-20 ランクC 製品も製造可能です。
詳細はお問い合わせください。



断熱性能試験結果(財団法人 建材試験センター 第07A1224号)

	JIS A 1420	
	旧単位	SI単位
発熱量	31.73; kcal/h	36.9 W
試験体通過熱量	6.79; kcal/h	7.9 W
冷却側空気平均温度	—	0.5 °C
加熱側空気平均温度	—	20.7 °C
試験体両側空気平均温度差	—	20.2 °C
試験体熱流通過面積	—	0.5346; m ²
熱貫流率	0.63; kcal/m ² ・h・°C	0.73 W/m ² ・K
熱貫流抵抗	1.59; m ² ・h・°C/kcal	1.37 m ² ・K/W



※建築用構成材の断熱性能測定方法-校正熱箱法及び保護熱箱法 付属書B

●備考

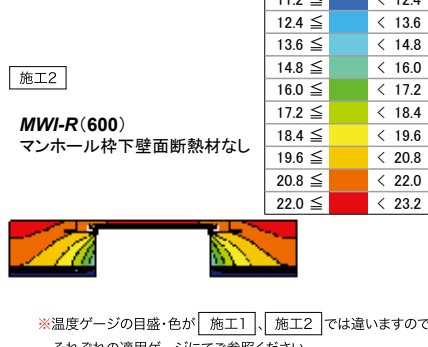
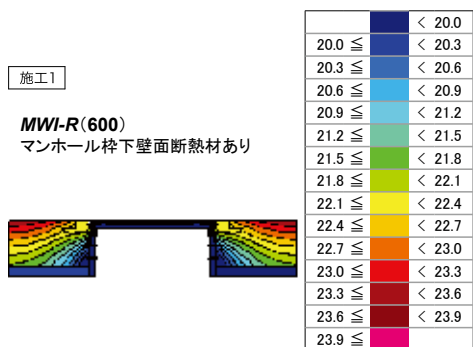
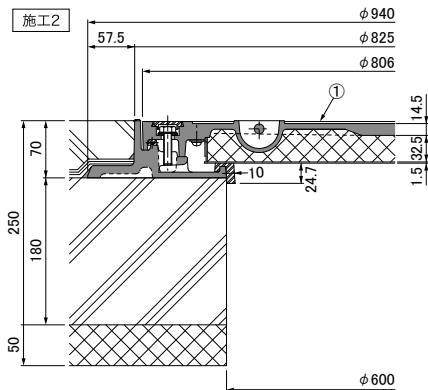
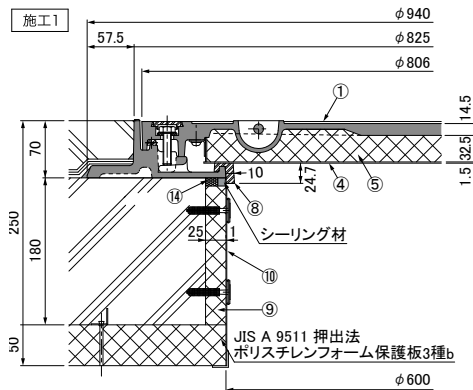
- カバーの表面に文字を鋳出することができます。
詳細は 2-1-9 ページ参照。
- 荷重区分は2-1-6-7ページ。

●断熱効果シミュレーション

(施工環境を構成する各材料の厚さ[mm]・熱伝導率(W/mK)・熱抵抗値[m²K/W]を用いて以下
条件にてシミュレーションしたもので、性能の保証値ではありません)

シミュレーション条件

室内側	乾球温度25.2°C 相対湿度77%Rh ⇒ 露点温度20.9°C
槽内	乾球温度5°C
使用断熱材: マンホール壁面部	スタイロフォーム IB25mm 品



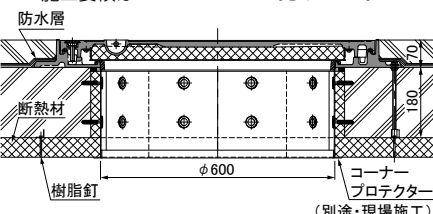
●シミュレーションより

施工1 では表面温度が露点温度以下にはならないので、結露する恐れは少ない。

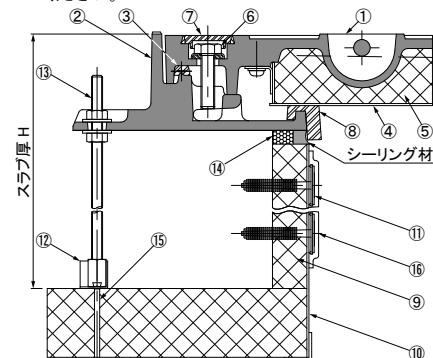
施工2 では部分的ながら表面温度が露点温度に近くなるので、その部分での結露の可能性はある。

●特長

- 断熱効果を高める為に、断熱材欠損部分を最小限に抑えた構造です。
- 枠下部分の断熱材は、標準仕様で厚さ25mmと50mmとの二通りに対応が出来ます。
※25mmを超えて50mm未満までの断熱材厚みでの打込型枠についてもお打合せにより製作いたします。
また、特注にて3種bも製作できます。
- 枠下部分の断熱材取付とマンホールカバー受枠との同時施工が出来ます。
※施工要領は2-1-85ページをご覧ください。



※打込金具をご用命の際は、スラブ厚Hをご指示ください。



●オプション部品 詳細は 2-1-4 ページ参照。

フック MF-14 (2本使用)
ボックススパナ MF-4 (1本使用)

●マンホールカバー部品表

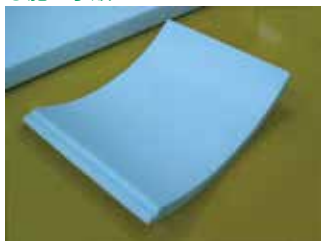
No.	部品名	材質	備考
①	カバー	FC200	樹脂系塗料塗装
②	受枠	FC200	樹脂系塗料塗装
③	パッキン	クロロプレン	
④	断熱カバー	SUS ポリスチレン	—
⑤	断熱材	硬質発泡 ウレタン	—
⑥	締付ボルト	SUS304	2-M10×40
⑦	ボルトカバー	クロロプレン	—
⑧	断熱・保護 パッキン	クロロプレン	—

●断熱材・打込み金具部品表

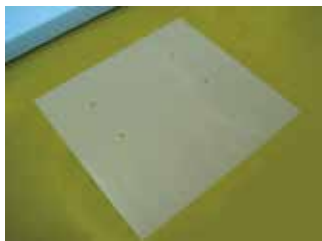
No.	部品名	材質	備考
⑨	マンホール側断熱材	押出法ポリスチレンフォーム 保温板1種b	JIS A 9511 t=25
⑩	保護シート	ポリプロピレン	—
⑪	ブラファス	—	—
⑫	固定ベース	SUS	—
⑬	レベルボルト	SUS304	M8
⑭	バックアップ材	合成ゴム	—
⑮	樹脂釘	樹脂	※型枠への固定用
⑯	頭部キャップ	クロロプレン	—
⑰	MK3	SEHC	施工用打込型枠
⑱	養生材	ポリエチレン フォーム	枠目地養生材
⑲	六角ナット座金	SUS304	M8・呼び8

※樹脂釘は後処理により折ることを目的としているため、型枠に取り付けの時、打ち込み方によっては樹脂釘が折れ飛ぶ危険もありますので十分に注意をして、保護めがね、ヘルメット等の保護具を使用してください。

●施工手順



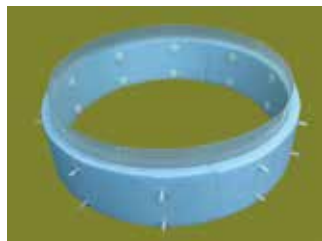
マンホール側用断熱材をカット。(6枚/組)
断熱材高さ=スラブ厚-70mm-10mm



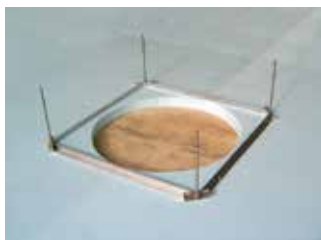
保護シートをカット。(6枚/組)
シート高さ=断熱材高さ+50mm



マンホール側用断熱材に保護シートを
千鳥にブラファスで止め付ける。



マンホール側用断熱材組立て終了。



固定ベースを開口のセンターにあわせ
樹脂釘等にて固定し、レベルボルトを
取り付けける。



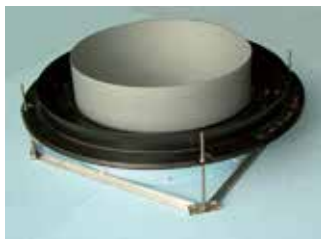
組み立てたマンホール側用断熱材を
開口に設置。(ナット、座金にて枠下まで
のレベルを出しておく)



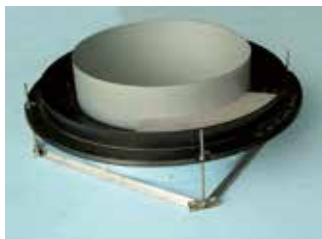
マンホール側用断熱材にバックアップ
材を、外周に合わせ貼り付ける。



受枠を乗せレベルを確認後、ナット、
座金にて固定する。



MK3を入れ固定する。



MK3固定後、養生材を押し込みながら
入れる。(5枚/組)

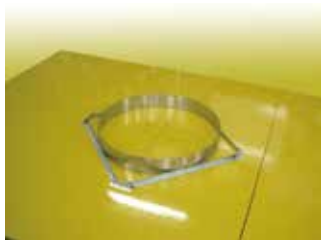


完了。

受枠下部・ピット開口径部断熱材一体施工型



●施工手順 (枠下断熱材を後施工する場合)



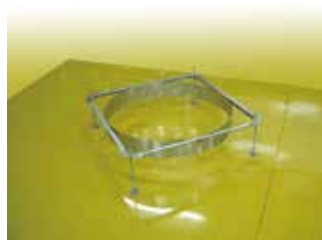
アンカー孔位置を出す為、施工位置に
調整リングを逆さに置く。



アンカー孔位置に記しをつける。



固定金具を釘で止め、レベルボルトを
セットする。



調整リングをセット。



受枠をレベルボルトにセットし、ナット、
座金にて固定する。



MK3を有効より入れ、押し広げる。



MK3を型枠に固定する。

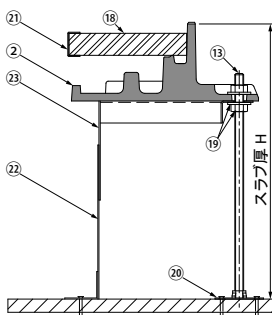


養生材を並べ、分割部分(内側)を
クリップにて固定する。



完了。

※この後施工用は、枠施工後
に断熱材を枠下へ吹き付け
若しくは貼り付ける為の
貼り代(25mm)を確保でき
る製品です。



(189)

●枠下断熱材後施工用・打込み金具部品表

No	部 品 名	材 質	備 考
13	レ ベ ル ボ ル ト	SUS304	M8
18	養 生 材	ポリエチレン フォーム	枠目地養生材
19	六角ナット・座金	SUS304	M8・呼び8
20	固 定 金 具	SUS	—
21	ク リ ッ プ	SEHC	養生材固定用
22	MK3	SEHC	施工用打込型枠
23	調 整 リ ン グ	SUS	—